



「思いをはせる」ということ

～子どもたちのアクションにエールを送る～

校長 島野 歩



校庭の梅の実が、黄色く熟してきました。昔から「梅の実が熟す頃に降る雨」という意味で「梅雨」と言われていたそうですが、今年は、梅雨に入ったと思ったら、雨が降っていたのはしばらくの間だけ……。梅雨が明け、真夏とも言える猛暑が続いています。しかしながら、校庭の梅を子どもたちと拾いながら、しばし季節を感じるひととき。宝物をひろうがごとく、笑顔いっぱいの子どもたちに幸せを感じます。

梅の実のほのかな甘い香りが、

校庭にひろがります。



「やさしさの輪」が世界中に広まりますように。

6年生代表委員会の子どもたち



過日、代表委員会の6年生の子どもたちが、「ユニセフ募金」を企画し、全校児童に呼びかけてくれました。

「世界には、戦争や災害などにより、何億人もの幼い生命が危険にさらされています。安全な飲み水が近くにないために、多くのこどもたちが生命を落としています。多くの生命を救うために、ユニセフ募金をします。みなさん、ご協力をお願いいたします。」愛にあふれた力強い呼びかけです。

残念ながら、今だ世の中から、争いが絶えません。いつの日も、幼い生命をはじめ、罪のない多くの生命が失われてしまうことに、言葉では表現しがたい深い悲しみを覚えます。自分にできること、皆でできることが、必ずある！

そのひとつが、「**思いをはせること**」だと思っています。

立場の違う人のことも、その立場で考えてみる。そこから「学びや知識」が生まれ、「思いをはせること」から「**行動すること：アクション**」につながる。

前述、代表委員会の子どもたちが中心となるユニセフ募金は、7月4日～7月9日まで行われます。子どもたちのアクションに、心からのエールを送ります。

世界の子どもたちの生命が、安全が、権利が、未来が……。失われませんように。

争いのない平和が訪れますように……。願ってやみません。

「雲の上はいつも晴れ」であることを信じています。

1学期 TOKYO GLOBAL GATEWAY

We enjoy speaking English!

初めは恥ずかし
そうにしていた
子どもたちも
巧みな話術で
いつの間にか
笑顔に！

6月7日(火)本年度第1回初めての
TOKYO GLOBAL GATEWAYへ
3年生～6年生が出かけてきました。
前年度に比べさらに、プログラムの内容も数も
充実し、こどもたちの活躍の場が広がりました。
とくに初めて参加の3年生はとびきり！でした。
通じるとうれしい！通じないとくやしい！
コミュニケーションツールとしての「英語」が
ここから日常のモチベーションにつながることを
願っています。

一人一人与えられる細かなミッション。英語で
できるだけ詳しく状況や希望を伝えてミッションを
クリアしていきます。
とても「どきどき！」でも不思議と「わくわく」・・・
さまざまな生活の場面の設定で、「使える英語」
「話せる英語」を目指していきます。



「AERA English」から取材いただいた本校の記事が
このたびも昨年度に引き続き3ページにわたり
掲載が予定されていますこと、ここにお知らせいたします。(8月発売予定)

7月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
					1 みたままつり 文教まつり	2 休業日
3	4 個人面談 B時程	5 教員午後研修 2校時下校 避難訓練	6 個人面談	7 13:00～16:00	8	9 終業式
10	11 夏休み(～8月22日) 4, 5, 6年夏季補習	12	13	14	15	16
17 福島ブリティッシュヒルズ 短期留学(16, 17, 18)	18 海の日	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

7月の生活目標

重点目標 〈文教っ子八ヶ条 第4条 人のせいではなく、自分で責任がもてること。〉

◎ 言葉づかいに気をつけよう

◎ 登下校のルールとマナーを守ろう

- ・相手を思いやった言葉づかいをする・その場に応じた正しい言葉づかいをする。
- ・電車内で周囲に迷惑をかけない。
- ・ハンカチとちり紙を身に付け、手洗いをする。

◎ 言葉でけんかにならないためには 〈文責：教頭 田中 宏一〉



言葉だけで気持ちを伝えるって難しいです。マスクが当たり前になり、表情が見えにくくなり気持ちが伝わりにくいことも幾度とあります。私はこの2年間、どのようにしたら目で笑っているように見えるか、毎日歯磨きをしながら鏡に向かって、今も練習しています。なんだか、はたから見ると、歯を磨きながら目はニコニコしている…奇妙な光景ですが、最近は癖になりました。

ところで、みなさんは、お友達から、「今日は遊べない。」言われたら、どんなことを思いますか。『なにか用事かな。』『忙しいんだな』と思う人がいるでしょう。『誰かと約束していたのかな。』と思う人もいるでしょう。なかには、『なんか、避けられているのかな。』『嫌われているのかも』『怒っているかな』と思う人がいるかもしれません。言葉を、相手がどのようにとるかは、人それぞれなのです。

でも、怒ってもいないのに伝え方によって、相手に『怒っているのかな』と思われるのは、さげたいですね。どのように言えばきちんと相手に伝わるのでしょうか。きちんと相手に気持ちが伝わるために3つのことを意識してみましょう。

1つ目、『相手を見て、表情をつけて話しましょう』

下を向きながら、無表情でお話されても、なかなか気持ちは伝わるものではありません。マスクをして話すことが当たり前になりました。【目は口ほどにものを言う】です。私は特にこれは気を付けています。

2つ目、『きちんと理由も、付け加えましょう』

「今日は用事があるから」とか「もう、違う約束があるから」ときちんと理由も話しましょう。できない約束をできると言ってしまうことは、それもけんかの原因になります。

3つ目、『相手を思いやった、言い方をしましょう』

相手は、どきどきしながら声をかけているかもしれません。ぶっきらぼうに答えることで、いらぬ誤解を生むこともあります。

私は毎年、この時期に文教っ子八ヶ条にあわせて、このことを話題にあげています。年齢や成長にあわせて、感情も成長します。「以前はそうは思わなかった」と思うことも成長のひとつです。毎年一度は、自分の気持ちに向き合ってみるのもいいのかもしれないですね。

「そんなつもりじゃなかったのに…」という、誤解から始まるけんかが起きないように、夏休みまでの10日間、相手を思いやった言葉づかいと、場に応じたあたたかい言葉づかいをして、楽しく過ごしましょう。

学校周辺への駐車・停車におきましてのお願い

送迎の際の、車の駐車・停車につきまして、ご協力いただき大変ありがとうございます。登校児童や近隣にお住まいの方に、いつもご配慮いただきありがとうございます。私も朝、交差点に立ってしまてドキッとすることが、本当に少なくなりました。近隣の方とも、お互いとても和やかに、朝の挨拶をさせていただいています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。以下は、毎回の確認となりますが、送迎途中の道路で、新しい建築工事も始まっておりますので、再度のお知らせとなります。ご協力お願いいたします。

送迎の際、学校の周り、駅から坂道の途中、曲がり角から50m内（電信柱2本目までが目安です）での子どもの乗り降りは大変危険です。子どもの乗り降りは、位置を離れていただきますようお願いいたします。

また、子どもの乗り降りはできるだけスムーズにできるよう、降りる準備をし、速やかにお願いいたします。玄関前、交差点付近は大変危険です。停車もご遠慮ください。また、学校近隣はすべて駐車禁止区域です。下校時にハザードをつけての停車は禁止されております。あわせてご協力お願いいたします。

